

「再会と別離」の先、後輩混沌同窓会

昭和 43 年度中央隊修了 山川（旧姓杉山）庄蔵
（初代産業開発青年隊同窓会東海ブロック会長）

「再会」

令和 5 年 5 月 10,11 日の快晴の両日、新緑の富士の麓に各地から目的地「田貫湖休暇村富士」に到着。フロントで隣のおっさんを見て、先輩とちやうかなとお互い顔を見合わせながら声を掛け合いやっとなり産業開発青年隊の同志と判明しました。そしてにっこり笑顔ですぐに打ち解けました。

田貫湖は人造湖でありながら、私たちが産業開発青年隊に在籍した 40 年当時は自然が満喫できました。今はオートキャンプなどが可能なりリゾート風の環境に変わっていました。

さて本会の出席者の顔触れは、5 月 11 日 12 日の参加者が、43 年度高等科卒業 1 名、44 年度高等科卒業 6 名+2 名同伴の奥様。43 年度普通科修了生 1 名+1 名同伴の奥様。中央隊修了 3 名の合計 14 名。

11 日 12 日の参加者が 45 年度高等科卒業 1 名、43 年度普通科修了 1 名、43 年度中央隊修了の 3 名が加わりました。

それぞれの思いの中、和やかな会となり、酒も会話も弾みました。

11 日午前中には、新緑の富士山麓を眺めつつ根原に向かいました。訪問の連絡を菅井事務局長にしてありましたので、出迎えを受け、富士教育訓練センター内の案内をしていただきました。様変わりした近代的建物を巡りながら、当時の校舎跡に思いをはせ、記念碑前で記念撮影をしました。

「離別」

富士教育訓練センターに滞在中に、青年隊の後輩より、46 年度高等科卒業の「山室登」君の訃報のメールが入りました。遺体は昭和 45 年度普通科修了の松永 泰然氏が住職を務める興徳寺に安置されているとの情報で、全員で興徳寺に向かいました。

到着すると、私たちの顔を見て、啞然とする松永住職に、いきさつを簡単に説明しました。その後、山室君の晩年に思いをはせながら前後して駆けつけてきた、本間和尚夫妻、昭和 45 年度高等科卒業、石川 祐三君とともに線香を手向け、合掌し冥福を祈りました。

諸兄の手により、納棺された山室君は、穏やかであり、「思いがけない先輩諸兄の慰問に感激と感謝で旅立ってます。」と阿吽の表情に思えました。

われわれ一同は、山室君との縁は薄いものの、一期一会の産業開発青年隊の絆により結ばれており、今回の山室君との奇遇も故長澤 亮太先生の導きかなと一同感じ入ったものであります。一度の集いで、二つの大業をなし終えた我々は、翌日の告別式を、松永住職、後輩たちに託して、改めて、好日の二日間に感謝し、本年 11 月 25 日に開催される産業開発青年隊創設 70 周年記念大会に再会を誓いそれぞれ帰途につきました。

「つぶやき 山室や」

産業開発青年隊の隊旗の下、同胞（はらから）とともに国土維新の志を抱いた、そんな君は雄々しく生き抜いたかや。

中途半端に生きるより、コロリと往くがよかったかや。巨漢の体軀を持ってあますことなく、血と汗を涙に替え、生き抜いたやつだと同胞は語り、涙する。

またある同胞は、根原を巣立ちて幾星霜、艱難辛苦に打ち耐えて二尺の尺八を携え修行の日々だったとも。生きて死ぬまで一直線、紆余曲折なる人生は、直線よりも長く愉快だったかや。

孟宗二尺の筒のように、太く長くとはいかなかったが、先に逝きし故長澤 亮太先生との合奏を愉しんでくれ。観客は先に鬼籍に入りし同胞たちだ。もちろん会場は、根原の荒野としよう。

この世には未練はないよと、吹く尺八は、無限の未来を奏でたり。

吹く筒は、いつか噴く富士山（おやま）治める鎮魂歌、根原の郷に鳴り響き縁の有無、一期一会と見送る諸兄に、逝く君は、微かに笑みを残したり。

合掌

「再会の後日所感」

まずは、先輩方の同期会に参加を呼び掛けてくれましたことありがとうございました。赤池、坂口（中里）山川（杉山）から御礼申し上げます。また、段取りをしてくれました大江、星野両幹部にはご苦労様でした。奥方の一言には先輩の意外な一面が垣間見えたこともまさに人生の縮図、でも幸せでしたのでしょね。始終笑顔でしたもの。隣席では赤池節が流れていました。

・先輩夫人の皆様方へお願い

断捨離はお二人で話し合い、でも簡単に男捨離はしないで、使い切ってください。同居期間は短くも生きてきました40年、生きるも難、離れるも難、何ならもう少し我慢しましょう。一階と二階で「共損狂栄」昔、乙女 今、太目 しゃあないですよ、時代の趨勢

若き頃、べはお茶漬けだと飲んで帰ってきてわがまま言ってた先輩でしたね。でも今は薬漬けなどと、いじいじ、じくじくといじめないで許してやってください。

先輩からありがたいお話を聞きました。「男と女はベルトの穴みたいなもの。いつも同じ個所を使っていると大きくなるし、痛みも早い、たまには違うベルトを使うがよいぞなとアドバイス。いずれかの先輩がご教示くださいました。

・諸先輩へ

幹部普通科の指導には、今も感謝して日々活かしていますよ。多くの反面教師に恵まれましたことを、そして先輩たちが高等科になった時代に、あの場所に居合わせなかったことを幸せに思っています。

奥さんから、あんたは人の話を聞かない人だといわれませんか。でも聞いても理解できなければ聞かないほうが良いかもしれません。後輩の立場で助言しますね。

根原から恋人（今の奥様とは限らず）に手紙を書いたことがありましたね。思い出してください。封筒に貼った切手は桜模様の10円切手でしたね。内容は恥ずかしいから思い出さないでください。

徹心 国家革新、皇紀2605年（昭和20年）この日から国土の再起が始まりました。産業開発の下に生まれ来たわれらは、左手（ゆんで）にハンマー、右手（めで）にペン。今、孫は左手にスマホ、右手にゲーム機ですよ。

自分の健康法を後輩に押し付けしないでください。タバコぷかぷか、酒はがぶがぶ、飯はもりもり笑いはがはがは、夜はぶらぶら（徘徊しちゃいますか）まあ押し付けは消費税なみに1割くらいは受け留めておきます。

・同期の輩たちへ

小バエの心臓、ノミの金玉のように小さくも、なくては困るそんな人間になりたいね。近くに来たら一報くれ。俺の晩酌は5時からだ。挨拶不要、土産は要す。日帰りで頼む。

不・・・不平、不満、不安、不惑、仕事は不動産。フフフフの不で生きていきます。

10年間書き続けられる手帳を買ってみました。鬼嫁曰く、いつまで続くかの心配よりも、何年書けるかそれが楽しみだとのたまった。願望は嫁より1日でも長く生きることだ。

・皆様へ

やっと振込め詐欺に遭遇できる年齢に達したことをお喜び申し上げます。機会があれば初体験もしてみたいですね。皆若くないが、年寄とは言わせない。年金受給者ではあるが、年金生活者ではない。のんびりと過ごしたければそれもよし。引き出しはいくつもあり、各駅停車で時刻表は気にせず過ごしましょう。日々是好日、それではごきげんよう。

・後記

いつまでも中央隊のガキと思ってお付き合いください。毎日成長していますからご安心を。私、嫌いなことは「努力と精進」信条は「他人のふんどしで相撲を取る」ですハイ。そして俳句、短歌でも和歌でも川柳でもない、ただ五、七の行文字で、一節の文を書き続けますが、拙文だとしっかり理解しています。ご笑読下さりありがとうございます。

庄蔵拝（自号・子子（ぼうふら））

水野、渡辺先輩が行軍時の、缶に浮いた子子の話しには大笑いしてしまいました。

根原の郷は 寂しからずや 山法師 育む肥しは 同志の気概

「再会と別離」の先、後輩混沌同窓会 参加者の皆様

令和5年5月10日、11日、12日

富士宮市 田貫湖 休暇村富士

43-2017	普通科	真壁 強 (夫人同伴)	仙台市より	11日まで
43-3014	高等科	渡辺敏憲	神奈川より	11日まで
44-3013	高等科	村上喜嗣 (夫人同伴)	久留米市より	11日まで
44-3015	高等科	大江 清	深谷より	12日まで
44-3016	高等科	星野和夫	さいたま市より	12日まで
44-3017	高等科	森 仁史 (夫人同伴)	津市より	11日まで
44-3021	高等科	長倉厚夫	八千代市より	11日まで
44-3022	高等科	水野貴志	藤枝市より	11日まで
43-1018	中央隊	赤池政雄	富士宮市より	11日まで
43-1006	中央隊	坂口信幸	富士市より	11日まで
43-1019	中央隊	山川庄蔵	藤枝市より	11日まで
45-3019	高等科	山本節夫	名古屋市より	11日より合流
43-2008	普通科	加藤五男	春日井市より	11日より合流
43-1005	中央隊	三上勝美	静岡市より	11日より合流
47-3054	高等科	菅井文明	富士教育訓練センター	

富士教育訓練センター駐車場にて、残念ながら富士山は見えず。

産業開発青年隊記念碑前にて

興徳寺にて 山室 登氏の通夜法要 導師 興徳寺 松永泰然住職

松永住職は、山室氏とは青年隊の同期であり、山室氏の晩年、東京より富士宮市に居を移すとき、本間住職とともに、尽力されました。

産業開発青年隊 65 周年記念大会の物故者慰霊祭では、山室氏が、鎮魂の義において竹管吹定（尺八演奏）を行い、産業開発青年隊関係物故者へむけて魂のこもった竹管吹定を行われました。その尺八の道に入られたきっかけは、長澤亮太先生の運転手をされ、長澤先生の付き人として尺八の先生のもとに共にいかれたことがきっかけとなったそうです。そして、生涯尺八の道を歩まれました。

山室登氏（46-3026 高等科）通夜葬儀参列者

45-2008	普通科	松永泰然	興徳寺住職 導師 同窓会監事
		本間光信	本源治住職 同窓会顧問

		本間妙廣	本源寺内
45-3001	高等科	石川祐三 (夫人同伴)	富士宮市より
45-2010	普通科	芦原末男	(本葬のみ)
46-3011	高等科	芝川 修	富士宮市より (本葬のみ)
46-3051	高等科	村松英夫	同窓会監事
47-3054	高等科	菅井文明	同窓会事務局長
48-3009	高等科	栗田富夫	同窓会名誉会長 (通夜のみ)
59-5014	海外課程	鈴木浩明	同窓会会長 (通夜のみ)